

手法の大分類	<input checked="" type="checkbox"/> 組織体制の整備 <input type="checkbox"/> エネルギー等の使用状況の把握 <input type="checkbox"/> 運用対策 <input type="checkbox"/> 設備保守対策 <input type="checkbox"/> 設備導入対策
体制の区分	<input type="checkbox"/> 本社等 <input type="checkbox"/> 支店等 <input type="checkbox"/> 連鎖化事業者の本部 <input type="checkbox"/> テナントビルの所有者等 <input checked="" type="checkbox"/> テナント等
対策項目	所有者等との協力体制の整備

**対策名**

**ビル所有者の対策や要請に協力**

内容

テナント等は、テナントビルの所有者が実施する地球温暖化対策へ積極的に協力し、自らの温室効果ガス排出量を抑制するとともに、テナントビル全体の排出抑制を目指しましょう。

実施目標

テナントビルの所有者等が実施する地球温暖化の対策に協力する体制を構築すること。

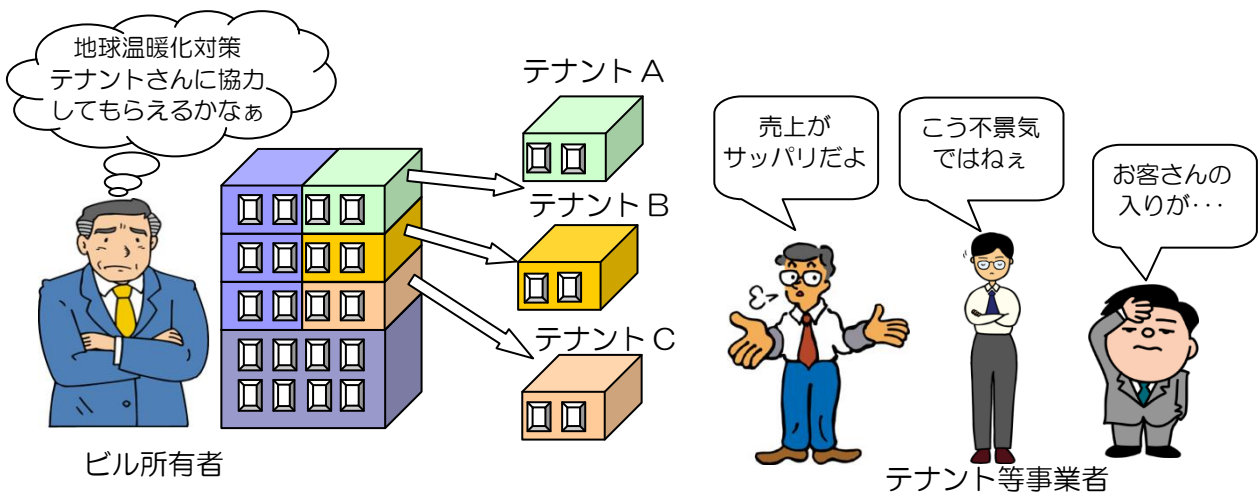
①現状の問題点

テナントビルの所有者の対策への取組に、十分協力できていますか？

テナントビルにおいて、面積の半分以上はテナントの占有部となっていることがほとんどです。そのため、テナントビルの所有者が地球温暖化対策を実施する箇所は、テナント占有部以外の部分、すなわち共用部となります。

その共用部においても、例えば廊下やエレベータホールなどの省エネルギーを図るため空調の温度設定を緩和しようとした場合、テナントの理解を得ないと実施できない場合がほとんどです。そのため、地球温暖化対策の取組の効果を高めるためには、テナント等事業者の協力が不可欠となっています。

テナント等事業者は、ビルの所有者からの地球温暖化対策への協力依頼に積極的に協力できるよう、所有者との連絡窓口を設置するなど体制を整えていきましょう。



テナントビル所有者の地球温暖化対策の取組に、積極的に協力できる体制を構築していきましょう！

テナントビルの所有者による温暖化対策の取組に協力することで、ビル全体の温室効果ガス排出量が減少し、テナントにとっても環境に配慮し、社会的にも評価されるビルへの入居につながるなどのメリットも期待できます。

## ②実施手順

ここでは、温暖化対策を実行していく役割として最初に重要なテナントビルの所有者との連絡役を担う組織や担当の選任の方法について説明していきます。

(1) 支店長などテナント等の責任者は、当該テナント等事業所におけるテナントビルの所有者との連絡役を任命しましょう

- テナント等事業者の内部の連絡も考慮し、当該テナント等事業所における温暖化対策担当組織、担当者が適任になるでしょう。

※ 万一、地球温暖化対策担当が存在しない場合には、ビル所有者から連絡を受け易い組織（管理部門など）から任命すると良いでしょう。

- 小さい組織では、責任者自ら連絡役になり地球温暖化対策を推進しましょう。

**ポイント！** 連絡窓口を設定することで、ビル所有者側との連絡調整がスムーズになります。対策をすばやく伝達できる体制を構築していきましょう！

(2) テナントビルの所有者へ連絡役の窓口を伝えましょう

- 連絡役を設定したら、担当者名及び連絡先をテナントビルの所有者に伝えましょう。

※ 連絡窓口の設置は、ビルに関する全ての関係の窓口になる可能性があることを考慮しておきましょう。（内容により担当が分かれる場合にはその旨も伝えましょう。）

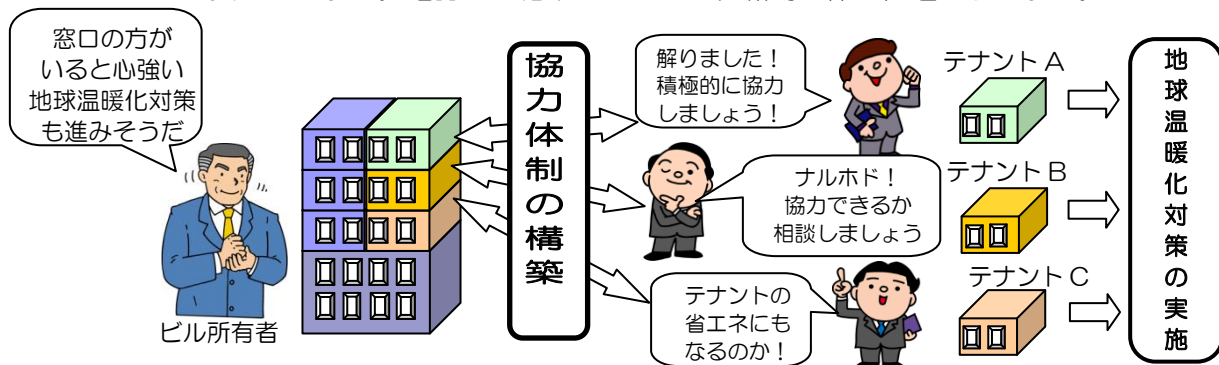
- テナント等事業者内部にも忘れず連絡窓口の設定を伝え、周知するとともに、ビル所有者へ提案がある際には、連絡窓口を介して伝えるようするなど権限を明確にしましょう。

(3) テナントビルの所有者からの協力依頼に実際に応じていきましょう

- 連絡窓口の担当者は、内容を正確に（何を、いつまでに、どの程度 etc）理解し、まず、責任者に報告しましょう。その際、取り組む際のメリットやデメリットも伝えるようにすると良いでしょう。

- 協力が可能と判断された場合には、取組の内容を社内連絡票や社内イントラネット、メールなどを活用し職場全体に伝達するとともに、テナントビルの所有者へ地球温暖化対策に協力する旨を連絡しましょう。

- 地球温暖化対策に協力した結果、どの程度の効果が得られたのかビル所有者側に確認するのも良いでしょう。確認した結果については、職場全体に伝達しましょう。



## ③効果

- テナントビルの所有者に協力することで、テナントビルの省エネルギーが推進され、テナントにとってもエネルギーコストの削減などのメリットが得られます。
- 協力の過程および協力の結果を、テナントの温暖化対策の取組として扱うことができます。

手法の大分類	<input checked="" type="checkbox"/> 組織体制の整備 <input type="checkbox"/> エネルギー等の使用状況の把握 <input type="checkbox"/> 運用対策 <input type="checkbox"/> 保守対策 <input type="checkbox"/> 設備導入対策
実施主体	<input type="checkbox"/> 本社等 <input type="checkbox"/> 支店等 <input type="checkbox"/> 連鎖化事業者の本部 <input type="checkbox"/> テナントビルの所有者等 <input checked="" type="checkbox"/> テナント等
対策項目	所有者等との協力体制の整備

対策名

ビルで設置する推進体制への協力

内容

組織横断的な省エネ推進委員会に参加することによって、テナントごとの取組内容や取組上の課題に対する認識が共有できます。

実施目標

テナントビルの所有者等が設置する地球温暖化の対策を推進する委員会などの設置・運営に協力する体制を構築すること。

①現状の問題点

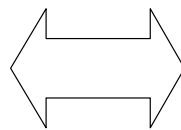
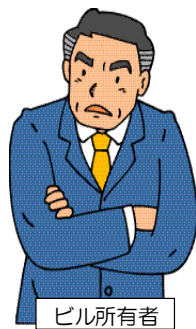
テナントビルの課題や現状認識について共有できていますか？

テナントおよびテナントビルの所有者間での省エネルギーの取組に関する情報交換の場が無い場合には、あるテナントで得られた知見はそのテナントのみのものとなり、他のテナントに活かされず、テナントビルが一体となった取組としては効率的とは言えません。

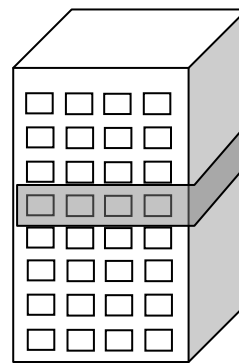
また、テナントビルの所有者が把握している課題、問題点や、取組の方針などの共有がなされないため、効果的な温暖化対策の取組が困難な場合があります。

地球温暖化対策の取組により得られた知見を共有することで、より効果的な取組につながります。

また、より効果的な取組内容の提案がある場合なども、意見交換の場が設けられなければ活用することができません。



認識を共有できていますか？



テナント

組織横断的な委員会などの設置により、テナントと所有者間での情報交換、意見交換の場が設定されることになり、対策の取組上の失敗や成功経験を共有することが可能になります。また、委員会は所有者にとってテナントの意見を聞く貴重な場となり、所有者の方針や取組内容の反映にも役立ちます。



組織横断的な委員会などを設置して情報を共有しやすい体制にしましょう！

地球温暖化対策を推進する組織横断的な委員会の設置により、課題・認識の抽出・共有や優れた取組の抽出・共有が可能になります。また、推進体制の強化にもつながります。

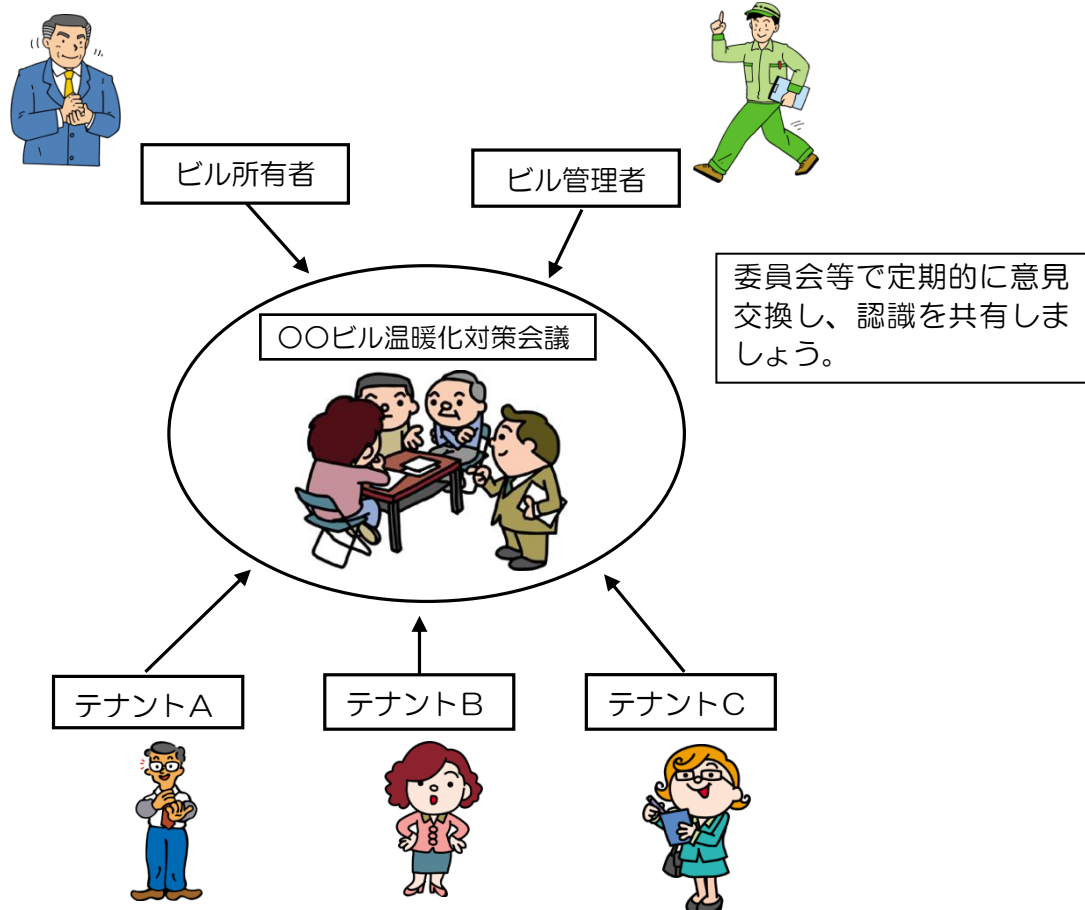
## ②実施手順

(1) 温暖化対策担当(者)は、テナントビルの所有者が設置する委員会などに参加しましょう

- 具体的な開催内容を事前に把握しましょう。
- テナントおよび所有者の取組内容と成果について、情報交換を行いましょう。
- テナントとテナントビル所有者の既存の会合などを活用するのも良いでしょう。

(2) 温暖化対策担当(者)は委員会記録を公表し、それぞれのテナントで活用しましょう

- 委員会の内容および決定事項は議事録などとして文書化し、社内連絡票や社内イントラネット、メールなどを活用して社内に公表しましょう。
- 優れた取組や、エネルギー使用量や取組の違いといった情報を、社内連絡票や社内イントラネットを用いて社内で共有しましょう。



## ③効果

- 各テナントの担当者が一同に会する機会を持つことで、有効な意見交換が可能になります。
- また、意思の疎通により、各テナントの意識統一を図ることができます。
- テナントビル所有者の意思を正確に伝え、かつ、各テナントの考えをテナントビル所有者の方針にフィードバックする機会が得られることで、より効果の高い省エネの取組が可能になり、結果として省エネルギーが促進されます。

手法の大分類	<input checked="" type="checkbox"/> 組織体制の整備 <input type="checkbox"/> エネルギー等の使用状況の把握 <input type="checkbox"/> 運用対策 <input type="checkbox"/> 保守対策 <input type="checkbox"/> 設備導入対策
実施主体	<input type="checkbox"/> 本社等 <input type="checkbox"/> 支店等 <input type="checkbox"/> 連鎖化事業者の本部 <input type="checkbox"/> テナントビルの所有者等 <input checked="" type="checkbox"/> テナント等
対策項目	所有者等との協力体制の整備

**対 策 名**

**ビルへの温暖化対策提案の実施**

内容

従業員が工夫した取組こそ、最も適した省エネルギー対策となります。また、省エネルギー提案の募集などにより、従業員の意識が高まります。提案内容を対策に取り入れていくことで、より優れた取組の発掘につながります。

実施目標

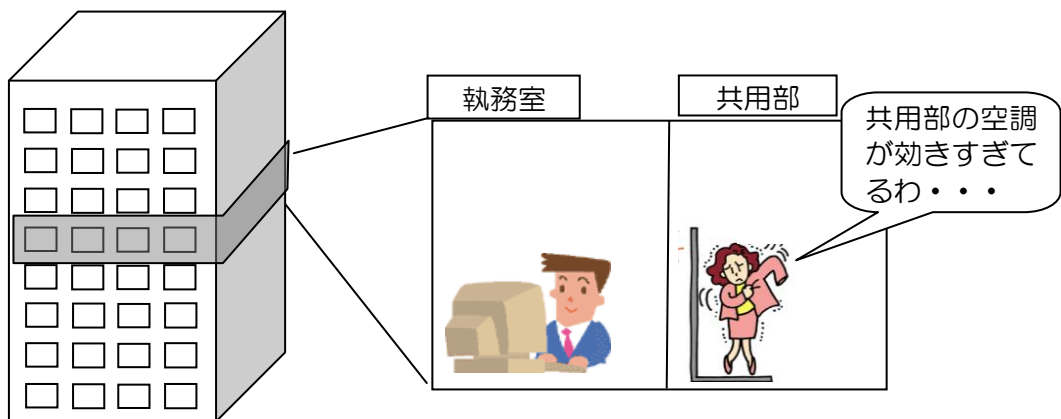
テナントビルの所有者等へ地球温暖化の対策を推進する提案を実施する体制を構築すること。

①現状の問題点

優れた取組を提案する雰囲気になっていますか？

テナントごとに省エネルギーに対する問題、課題は異なることがあり、そこで働く人が課題に気づき、対策のアイデアを持っている場合があります。

省エネルギーの効果を高めるためには、テナントごとに適した対策の実施が有効であり、そのためには、実際に対策に取り組む現場の従業員の意見を対策に反映していく必要があります。



テナントの省エネルギーの推進のためには、実際の現場にあるアイデアを取り上げ共有することが大変効果的です。現場にあるそういったアイデアが眠ったままでは、大変な損失です。アイデアの出しやすい雰囲気を作ることで、自発的な取組を推進していきましょう。



従業員が行う、省エネルギー対策への取組の工夫が組織全体で活用される制度を構築しましょう！



提案数を増やすことで、効果は一層、高まります。提案が容易になるよう無記名方式にしたり、提案数を増やすため表彰制度・褒章制度を設けたりすることも効果的です。眠っている優れた工夫を掘り起こすため、従業員がやる気をもつような提案制度にしていきましょう。

## ②実施手順

(1) 温暖化対策担当(者)が、具体的に制度を構築していきましょう

- 優れた提案については表彰し、場合によっては褒賞金なども用意することで提案数が増加します。
- 半期に1回、1年に1回など、定期的に募集することで、さらに意識を高めることにつながります。

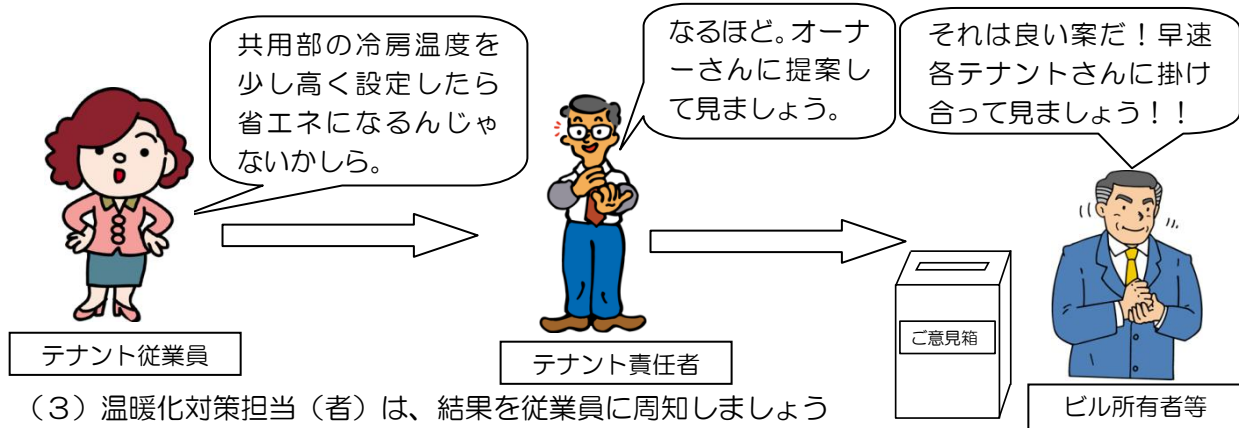
(2) 温暖化対策担当(者)は、省エネルギーに関する提案を募集しましょう

- 省エネルギーの提案を求める告知を支店内に掲示しましょう。
- 告知にあたっては、テーマを明確化しましょう。

<周知の例>

省エネルギー提案の募集のお知らせ  
今年度の省エネルギー提案を募集します。  
皆さんが日頃の業務中にもったいないと感じていることをもとに、職場で取り組める省エネルギー対策を自由に記入して回収ボックスに入れてください。優れた提案については、年度末に表彰します。

- ささいなことが重要なこともあります。自由な意見を引き出す上では、無記名での提案募集も効果的です。
- 提案の回収には、メールや回収ボックスなどを活用することも効果的です。
- 変わった意見や少数意見なども大切に扱きましょう。



(3) 温暖化対策担当(者)は、結果を従業員に周知しましょう

- 優れた提案は全従業員に周知し共有しましょう。
- 優れた提案は、テナントビルの所有者や他のテナントなどへ情報提供しましょう。

## ③効果

- 優れた提案以外にも、提案の多かった内容を分析すれば「多くの方が疑問に思っていること」を把握し、対策に活かすこともできます。
- 現場の状況に見合った対策が実施されるため、省エネルギーの効果が高まります。
- 従業員から広くアイデアを募集することで職場の意識が高まり、省エネルギーが推進されます。